



令和5年度 秋の企画展

備後一宮 吉備津神社展

令和5年11月22日(水) ▶ 令和6年1月8日(月・祝)



保存修理を終えた重要文化財 吉備津神社本殿

備後一宮 吉備津神社（福山市新市町）では、令和元年から令和4年にかけて、重要文化財である吉備津神社本殿の大規模修理が行われ、その装いを新たにしました。

今回の企画展では、この本殿大修理完成を記念し、吉備津神社伝来の文化財をはじめ多様な関係資料によって、吉備津神社の歴史や備後地域の文化を紹介します。

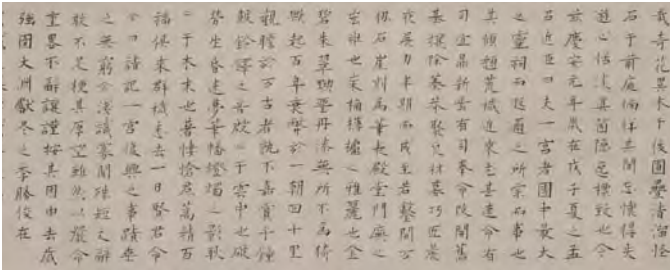
また、県外の博物館に寄託されている吉備津神社の重要文化財である木造狛犬（東京国立博物館寄託）及び毛抜形太刀（岡山県立歴史博物館寄託）も里帰りします。お見逃しなく。

展示の内容は次のページへ ▶▶

備後一宮 吉備津神社展

備後一宮 吉備津神社は、大同元年(806)の創建と伝えられる備後有数の古社です。慶安元年(1648)に初代福山藩藩主の水野勝成によって本殿を含めた境内が再興され、現在に至っています。

歴史

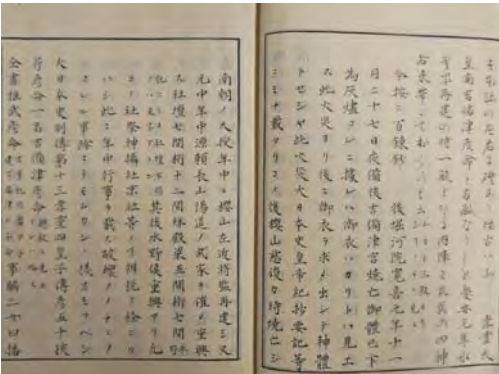


一宮重興記 吉備津神社

水野勝成が、吉備津神社を再建復興させた経緯を漢文体で記した資料。



無言舞(『福山志料』※巻三十四) 福山市歴史資料室蔵
3月3日に行われる年中行事で、4人の子供により舞が行われた。江戸時代の後期には舞楽の簡略化が進んだ。



宮内村(『福山志料』※巻十八) 当館蔵

巻十八は宮内村のみが記述され、吉備津神社の由緒、年中行事や宝物についても触れられている。

※福山志料:文化6年(1809)に作成された福山藩内の地誌(全35巻)

吉備津神社の名前は、平安時代から史料に現れる。鎌倉時代には、尾道浄土寺の落慶法要で吉備津神社の楽人が舞楽を奉納したことや供菜人(神社へ供祭物を奉納する者)が強訴を行おうとする記録等、備後国での活動の広がりをうかがうことができます。

文化財



木造狛犬(重要文化財) 吉備津神社蔵

平安時代作の木造狛犬。阿形が1軀、吽形が2軀伝えられる。



けぬきがた 毛抜形太刀(重要文化財) 吉備津神社蔵

吉備津神社には、4口の太刀が伝わる。柄の透かしの形から毛抜形太刀と呼ばれる。



ろくかくがた つらろろ 六角形釣灯籠 吉備津神社蔵

軒先などに吊り下げられる釣燈籠。水野勝成が再造した慶安元年(1648)の銘文が刻まれる。

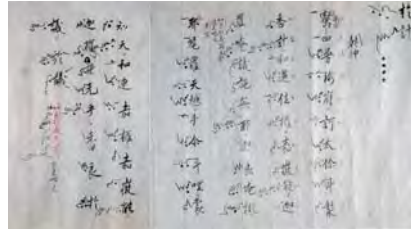
舞 楽



舞楽面 納蘇利(左)と陵王(右) 吉備津神社蔵
舞楽で用いられる面。納蘇利と陵王は、番舞で双方が一組として演じられる。納蘇利面は室町時代の作。



笙 吉備津神社蔵
雅楽で使用される管楽器のひとつ。



神楽譜 当館蔵(黄葉夕陽文庫資料)
御神楽の演目の楽譜。吉備津神社楽人の家に伝わったものの写し。

舞楽は、音楽に合わせて舞われます。現在の吉備津神社に舞楽は伝わっていませんが、一遍上人聖絵などから、中世には盛んに舞楽が行われていたことが知られています。江戸時代にも舞楽の記録が残っていますが、江戸時代後期には衰退していたようです。

吉備津神社本殿保存修理



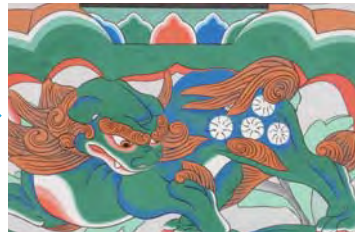
発見された墨書

本殿正面の向拝の北側にある臺股獅子の彫刻

修理前

修理後

本来の色を調査して
図面を作成



図面に基づ
き修理

吉備津神社本殿の保存修理は、使用されている素材、工法などを確認しながら進められました。部材の一つである臺股は本来の色や模様を確認し、復原されています。

また、本殿の柱には、慶安元年(1648)の年紀がある墨書が確認され、建築年の裏付けになる貴重な発見でした。

- 開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※初日の入館は、午前10時から
- 休館日 / 月曜日(ただし1月8日(月・祝)は開館)、12月28日(木)～1月1日(月・祝)、1月4日(木)
- 入館料 / 一般1,000円(800円)、大学生・高校生500円(400円)、中学生・小学生350円(280円)
※()は20名以上の団体料金
※関連行事については、8ページをご覧ください。

広島県草戸千軒町遺跡調査研究所開所50周年記念 講演会・シンポジウムを開催しました!



■ 広島会場【7月15日(土)】

「中世遺跡研究のさきがけ 草戸千軒」をテーマに、広島県立美術館講堂において開催しました。

基調講演では、講師の鈴木康之さん(県立広島大学教授)から、草戸千軒町遺跡の発掘調査で分かった集落の移り変わりや文献資料から読み解く時代背景をもとに、最新の研究について分かりやすく発表いただきました。

また、講師の小野正敏さん(福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館特別館長)からは、草戸千軒町遺跡と一乗谷朝倉氏遺跡が中世史研究にもたらした成果と今後どのように保存・活用していくかという課題について述べられました。

シンポジウムでは、研究所初代所長の松下正司さんが、研究所の歩みや調査の思い出などを語られました。

中世考古学のさきがけとして、研究所の成果が中世史研究に与えた影響を見直すことができました。



■ 福山会場【8月19日(土)】

「草戸千軒町遺跡と出土遺物の保存と活用に向けた取組」をテーマに、当館講堂において開催しました。

基調講演では、講師の原田昌幸さん(元文化庁主任文化調査官)から、重要文化財草戸千軒町遺跡出土品の修理事業に携わった際の、保存処理の方法や工夫などの紹介と修理の重要性について発表いただきました。

また、講師の柳川真由美さん(福山大学准教授)は、中世の日記に書かれた内容と草戸千軒町遺跡出土品を比較し、人々の暮らしむきについて発表されました。中でも、中世のお金の価値の話は、来場者から好評でした。

シンポジウムでは、松下正司さんが、研究所で取り組んでこられた普及活動について紹介され、講師の方々からは保存・普及活動の必要性等について述べられました。

今後の研究所に対する期待を再認識することができました。



令和5年度 夏のイベントを実施しました!

夏休みだよ! こども博物館教室

こども博物館教室は、小・中学生に、広島県の歴史や伝統文化に触れる機会を提供し、当館の活動及び広島県の歴史や文化に興味をもってもらうことを目的として、毎年開催しています。

今年度は、「藍染をしよう」「い草のコースターを作ろう」「い草を織ろう」「ミニ畳を作ろう」の4つの体験講座を開催し、各回、定員を上回る応募がありました。

備後^{びんご}絣や備後^{びんご}表など、備後地域の伝統文化について深く学んでいただくため、講師の方々をお招きし、実りのある講座にすることができました。

完成した作品は、思い出とともにお持ち帰りいただきました。中には、このイベントを地域の歴史を学ぶ自由研究の材料とした参加者もいたようです。後日、「自由研究で備後表について調べ始めました!」という嬉しい報告がありました。



「い草を織ろう」の様子



完成した藍染作品

草戸千軒お化け屋敷 (歴史×心理学)

このお化け屋敷は、当館と福山大学人間文化学部心理学科の学生がコラボして、閉館後の博物館で開催するイベントで、今年度で3回目となります。

8月の各土曜日に4回開催し、総勢 60 組の参加者に体験してもらいました。このイベントは、小学生とその保護者に、当館と草戸千軒町遺跡について理解を深めてもらうとともに、犯罪心理学による危険予知の方法を学ぶことを目的に開催しました。

福山大学の学生の皆さんは、遺跡について分かりやすく解説するとともに、夜間行動に潜む危険性や恐怖と不安の仕組みについて理解を深めてもらおうと、お化け屋敷の仕掛けを工夫しました。また、当館学芸員が時代考証をすることで、普段とは違った草戸千軒展示室が違和感のないよう演出することができました。

参加者は、お化け屋敷に入る前に3問の歴史クイズを解いてスタンプラリーを完成させました。集まったスタンプは、お化け屋敷を通り抜けるための重要なアイテムとなります。

お化け屋敷の中では、毎回、悲鳴や笑い声が響いていました。お化け屋敷を出た後は、仕掛けに隠された犯罪不安について学んでもらい、「犯罪心理学」へ関心を持っていただけました。



お化け屋敷に向かう参加者



犯罪心理学を学ぶ様子

茶山の漢詩が
よくわかる!

ちや ざん

茶山マンガ

しゅう じつ ざっ し だい じゅう いつ しゅ

(秋日雑詩 第十一首)

菅茶山は、現在の福山市神辺町出身の文人です。詩人としての評価が高く、文化九年(一八一二)に刊行された『黄葉夕陽村舎詩』は当時のベストセラーになりました。



漢詩文

隣僧乞我小園芳
蕃菊胡枝秋海棠
忽挈一籃来作報
帶泥松蕈滿厨香

読み下し文

隣僧 我が小園の芳を乞う
蕃菊 胡枝 秋海棠
忽ち一籃を挈え来りて報を作す
泥を帯る松蕈 満厨香し

〔『黄葉夕陽村舎詩』後編巻七から〕文化十三年(一八一六) 茶山69歳



庭に咲いているきれいなお花もいいけど、それがいい香りのする松茸に変わるなんて最高だね!
この詩は、「食欲の秋」と「花より団子」って言葉がぴったり合うと思うな。
君が秋を感じるのはどんな時?

頼山陽史跡資料館

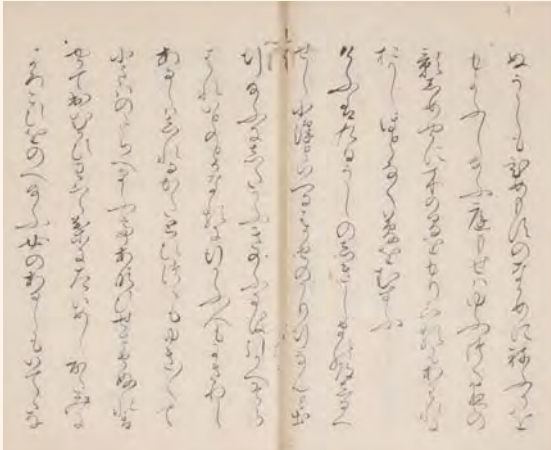
企画展

令和5年 10月26日(木)～12月10日(日)

「すっぽらぼんと生きる」 ～頼 静子の生涯と日々の記録～

宝暦10年(1760)に大坂で生まれた静子(1760-1843。号・梅颯)は、儒学者・飯岡義斎を父に持つ、和歌と書に優れた教養豊かな女性でした。安永8年(1779)に安芸国竹原下市村出身の儒学者・頼春水と結婚した静子は、その後生まれ育った大坂を離れて広島に移り住みます。

本展では、頼山陽の母親であり、「梅颯日記」と呼ばれる日記を50年以上にわたって記録し続けたことでも知られる静子の生涯に光を当てます。ゆかりのない地で暮らしていく不安や子育ての悩みといった葛藤を抱えながらも日々生きる姿や、和歌を介して広がる交流の様子などを、静子や家族が書き残したものを通して紹介します。



「遊洛記」 頼静子著(竹原・春風館蔵)

安永9年(1780)、当時21歳の静子は、夫・春水と舅・惟清と共に京都を旅行しました。「遊洛記」はこの旅のことを記した静子の紀行文。

京都では、惟清の和歌の師である小澤蘆庵を訪問しています。和歌を学んでいた静子にとって、京都の歌人と過ごすひとは特別だったようで、紀行文にはこの時の経験が感動と共に記されています。



「夜鶴草」 飯岡義斎著 (杉ノ木資料、頼山陽史跡資料館蔵)

天明元年(1781)、春水は広島藩儒に登用されました。広島藩士の妻として大坂を離れる静子に与えるため、父・飯岡義斎が天明2年夏に著したものが本資料です。

訓戒の文章と和歌が書きつけられており、最後の和歌に「すっぽらぼん」という言葉が使われています。その言葉に込められた父親の想いとは?展示でどうぞご覧ください。

- 会場 / 頼山陽史跡資料館(広島市中区袋町5-15) TEL:082-298-5051
- 時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 / 月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日休館)
- 入館料 / 一般300円(240円)、大学生・高校生220円(180円)、
中学生・小学生150円(120円)※()は20名以上の団体料金

※関連行事については、8ページをご覧ください。



▲頼山陽史跡資料館
ホームページ

RAI S A N Y O U

博物館 掲 示 板

X (旧Twitter) 公式アカウントを開設して、2年が過ぎました!

ふくやま草戸千軒ミュージアム (広...
@hiroshima_prhk

【#ミュージアムショップの紹介!】
#福山アンバサダーである#福山くんのグッズや、福祉施設のものづくり展のグッズ、さらにはNHK大河ドラマ#どうする家康にちなんだグッズも販売しています!
また、過去に開催された展示会の図録も購入することができます!
ぜひ覗いてみてくださいね👉



ふくやま草戸千軒ミュージアム (広...
@hiroshima_prhk

6月15日と7月6日に、県立福山北特別支援学校のみなさんが、館周辺の花壇を清掃し、きれいな花を植えてくださいました🌻
みなさんのおかげで、季節に合った花を楽しむことができます🌻
ありがとうございました!



ふくやま草戸千軒ミュージアム (広...
@hiroshima_prhk

【はくぶつかん こぼればなし】
#福山城の天守閣から当博物館と#ふくやま美術館を望むと、屋上や公園の舗道に幾何学文様が見えます。これは地元の#備後耕の絵柄をモチーフにしたものです。
ふくやま文化ゾーンにある博物館と美術館が公園に調和するようにデザインされていることが分かりますね👉



収蔵資料の紹介、展示準備や学校見学の様子など、博物館の最新情報を皆様に分かりやすくお伝えしています。
ぜひご覧ください!



▲ X (旧Twitter)

秋の企画展②「備後一宮 吉備津神社展」関連行事

展示解説会

※入館料が必要になります。

■ 11月26日(日)、12月10日(日)、令和6年1月7日(日) ※いずれも午後1時30分～午後2時30分

博物館大学

※いずれも午後2時～午後3時30分

回数	演 題	講 師	開 催 日
第4回	備後一宮 吉備津神社本殿の保存修理について	公益財団法人文化財建造物保存技術協会 技術職員 佐藤 明生氏	11月25日(土)
第5回	吉備津神社をめぐる歴史	岡山大学 文明動態学研究所 非常勤研究員 江草 宣友氏	12月9日(土)
第6回	香茶山関係資料に見る吉備津神社	ふくやま草戸千軒ミュージアム 主任学芸員 岡野 将士	12月23日(土)

頼山陽史跡資料館 企画展関連行事

展示解説会

※入館料が必要になります。

■ 11月4日(土)、11月11日(土)、11月25日(土) ※いずれも午後1時30分～

ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)ニュース 第137号

編集・発行

令和5年10月15日



ふくやま草戸千軒ミュージアム
(広島県立歴史博物館)
HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4-1
TEL 084-931-2513 FAX 084-931-2514
e-mailアドレス rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp
ホームページ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/
X(スックス) https://twitter.com/hiroshima_prhk



▲ ホームページ



▲ X (旧Twitter)